

1998年度事業報告

■春の講演会の開催

日 時： 1998年4月28日（火）13：30～15：15
場 所： 北海道大学百年記念会館 大会議室
出席者： 53名
講 演： ①雪、お前が作る新しい時代ー利雪技術の現状と展望ー
媚山政良（室蘭工業大学）
②宮の森シャンツェにおけるピンポン玉なだれ実験
西村浩一（北海道大学低温科学研究所）

■総会の開催

日 時： 1998年4月28日（火）15：30～16：00
場 所： 北海道大学百年記念会館大会議室
議 題： 1. 1997年度事業報告・収支決算
2. 1998年度役員選出
3. 1998年度事業計画・収支予算案
4. その他

■役員会議（第1回理事・幹事会）の開催

日 時： 1998年4月28日（火）16：00～17：00
場 所： 北海道大学百年記念会館大会議室
議 題： 1. 1998年度支部活動について
2. その他

■研究発表会の開催

日 時： 1998年6月23日（火）13：00～18：00
場 所： 北海道大学学術交流会館 小講堂
出席者： 77名
プログラム
座長 伊藤敏幸（北海道工業大学）、西村浩一（北大低温研）
深見浩司（北海道立地下資源調査所）
1 着氷風洞を用いた列車着雪に関する基礎実験 1
井藤由親・尾関俊浩・北川弘光（北大院・工）

- 秋庭賢二 (J R 北海道)・小杉健二 (新庄雪氷防災研)
- 2 積雪の摩擦特性に関する実験的研究 ー摩擦特性の温度・時間・密度依存性についてー
伊藤康德・藤野和夫 (北海道工業大学)
 - 3 凍結路面の発生メカニズムに関する熱収支的考察 II.
石川信敬・成田英器・須藤正季 (北大低温研)・加治屋安彦 (開発土木研究所)
 - 4 降雪強度と風速から視程を推定する手法に関する研究
松澤 勝 (開発土木研究所)・竹内政夫 (日本気象協会)
 - 5 高速道路における成木移植の 18 年後の成果と問題点の解決方法について
斎藤新一郎 (専修大学北海道短期大学)・正城泰夫 (日本道路公団)
竹内摂雄 (札幌道路エンジニア)
 - 6 国道 38 号狩勝峠の盛土法面における植栽木の 4 年後の成長経過と雪害対策について
斎藤新一郎 (専修大学北海道短期大学)・孫田 敏 (日本データサービス)・阿部富次 (帯広開発建設部)
 - 7 第 10 回国際冬期道路会議概要と第 11 回日本 (札幌) 開催 (2002 年) に向けて
石本敬志 (開発土木研究所)
 - 8 凍結防止剤自動散布システムの開発
岡 喜秋・上出光志・北口敏弘 (北海道立工業試験場)・加藤譲二 (中島金属工業)・須貝保徳 (電制)・長田茂樹 (ホッコンアイピーシー)
 - 9 自然エネルギー利用融雪システムの国内普及状況と将来性
岩本欣也 (北大工学部)・佐山惣吾 (寒地技術研究所)
 - 10 勾配屋根における軒下堆積雪形状の観測
長谷川哲哉・伊東敏幸・苫米地司 (北海道工業大学)
 - 11 屋根雪における積雪後のザラメ化に伴う摩擦抵抗力の変化
伊東敏幸・高倉政寛・苫米地司 (北海道工業大学)
 - 12 北海道における基礎断熱を併用した土盤断熱工法の適用に関する研究
北谷幸恵・福島 明・月館 司・鈴木大隆 (北海道立寒地住宅都市研究所)
 - 13 ニセコ春の滝で発生した雪崩(1998. 1. 28)調査報告
山田高嗣・八久保晶弘・根本征樹・海原拓哉・James McElwaine
西村浩一 (北大低温研)・新谷暁生 (ウッドペッカーズ)
 - 14 ニセコアンヌプリの積雪特性
八久保晶弘・山田高嗣・James McElwaine・菅野真人 (北大低温研)

- 新田隆三・原田裕介(信大・農)・和泉 薫・永崎智晴(新大災害研)
川田邦夫(富山大・理)・納口恭明(防災科研)
- 15 衛星による屈斜路の御神渡りの研究—御神渡りの分布と湖氷厚の推定—
西尾文彦・中村和樹・直木和弘・東海林明雄(北海道教育大学釧路校)
- 16 自動画像モザイク法の雪氷研究への応用
直木和弘・戸山陽子・谷川朋範・中村和樹・中山雅茂・西尾文彦
(北海道教育大学釧路校)・織田和夫(アジア航測)
- 17 苫前町における吹雪を活用したまちおこしのこころみ
苔米地司(北海道工業大学)
- 18 ～水や氷を素材とする教育実験～ 輪ゴムでつくる氷のステンドグラス
矢作 裕(北海道教育大学釧路校)

■機関誌「北海道の雪氷」17号の発行

発行日 : 1998年8月21日

発行部数 : 350部

■地域講演会の開催

日時 : 1998年11月12日(木) 15:00～18:00

場所 : 北海道大学学術交流会館

テーマ : 公開講演会「21世紀の北海道の生活と雪」

—雪や寒冷気候を自然エネルギーとして利用した食料の備蓄—

主催 : 日本雪氷学会支部

後援 : 日本気象学会北海道支部、日本農業気象学会北海道支部
日本建築学会北海道支部、北海道経済部資源エネルギー課
札幌市、沼田町、北海道立寒地住宅都市研究所
北海道大学低温科学研究所、北海道新聞社

出席者 : 163名

プログラム

主催者挨拶 前野紀一 支部長

第1部

基調講演

新聞記者が見た利雪社会

相原秀起(道新)

夏の雪—あり余る冷熱資源

媚山政良(室工大)

農業に雪を一雪も仲間の農業現場への展望

谷口健雄(道立中央農試)

雪と暮らす—雪と共存した社会への展望

苔米地 司(道工大)

コメント

雪国の貯えー伝統に学ぶー

石田秀樹 (道東海大)

雪利用型産業の課題

原 文宏 (北海道開発技術センター)

第2部

パネルディスカッション「北海道における雪利用技術の展望について」

モデレーター：石田 哲 (北海道総合企画部政策室)

パネルメンバー：相原秀起、媚山政良、谷口健雄、石田秀樹

■第1回幹事会の開催

日 時： 1999年3月10日(水) 13:30～15:00

場 所： 北海道大学低温科学研究所 会議室

議 題： 1.1998年度事業報告・収支決算(見込み)

2.1999年度事業計画・収支予算案

3.その他

■第2回理事・幹事会の開催

日 時： 1999年3月10日(水) 15:00～17:00

場 所： 北海道大学低温科学研究所 会議室

議 題： 1.1998年度事業報告・収支決算(見込み)

2.1999年度事業計画・収支予算案

3.その他